

授業科目名	開講年次	開講期間	単位数	授業形態
助産学実習Ⅲ	1	後期	2	実習 90時間
担当教員	志村千鶴子、久保幸代、下睦子、潮田千寿子			
授業概要	軽度の合併症や心理・社会的課題を持つ妊産婦及び、その家族を受け持ち、助産課程の展開を通して助産ケアを主体的に実践できる能力を身につける。周産期母子医療センターにおける助産管理について理解する			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 軽度の合併症や心理・社会的課題を持つ妊産婦及び、その家族のアセスメントができる。 2. アセスメントの結果から、必要なケアを考えられる。 3. 周産期母子医療センターの助産管理について考えることができる。 			
履修条件	特になし			
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・軽度の合併症や心理・社会的課題を持つ妊産婦及び、その家族を対象とした実習を行う。 ・分娩第1期から産褥入院期間までの3事例を受け持ち、軽度の合併症や心理・社会的課題を持つ対象の助産診断と助産過程を実施・評価し、個別的継続的支援について学ぶ。 ・分娩期の助産ケア、分娩介助、産後ケアや退院後の育児支援(家庭訪問を含む)、健康診査についても継続的に関わる。 ・周産期母子医療センターの助産管理について考察する ・11-12例目の受け持ち事例に関し、産婦・褥婦の個別性に応じた助産計画の立案・ケア実施・評価を行う。 			
教科書	特に指定しない			
参考書	特に指定しない			
評価方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成行動による総合的評価(60%) ・実習記録による学習成果(40%) 			
事前・事後学習	<p>事前学習：妊娠・分娩・産褥の合併症における病態と治療及び妊産婦及びその家族の心理・社会的課題について復習しておく。</p> <p>事後学習：受持ちに関する助産家庭の実施評価に関する記録を整理し、個別的・継続的支援につなげる。</p>			
備考	特になし			